平成23年(2011年) 第 185 号 [8月1日発行]

<u>WWWWWWWWWWWWWWWWWWWWWWWWWWWWWWWWWWW</u>







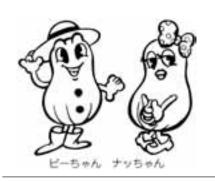


[Net/I's

市立川上幼稚園のおとも だちです。 **プールあそびおもいっき** い、たのしんでね!



☆市内教育施設等で大気中の放射線量を測定(H23.7.6現在)☆ 市内の公立・私立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校の大気中の放射線量の簡易測定の 屋外の空間線量率を大幅に下回っています。





6月定例会

○提出議案の主な内容 ——	2 ~ 3 P
○議案質疑 ————	
○委員会での審査 ―――	5 ~ 6 P
〇一般質問(個人12人)—	
○意見書の提出	
○議長・副議長の出席報告	1 5 P
○家議された議家と結里 ―	

編集・議会だより編集委員会 〒289-1192 千葉県八街市八街ほ35-29 TEL043(443)1482 発行·八街市議会 〔八街市ホームページに会議録・一般質問項目・会議結果等について掲載してあります。 http://www.city.yachimata.lg.jp/〕



の同名だ

提出議案の主な内容

、紙面の都合上、議案の内容の一部を掲載します。

蒠を求めるものです。

い89番地 固定資産評価審査委員会委員の選任について 大野明委員の任期満了に伴う後任として、八街市八街 栗原正幸氏を選任することについて議会の同

算を補正する必要が生じたことから専決処分したもので 国民健康保険特別会計の財源が不足する見込みとなった 国民健康保険特別会計に繰り出すにあたり、一般会計予 ことから、その財源不足を補うため、一般会計繰出金を 議案第2・3・4・5号─専決処分の承認を求めることについて 議案第2号(平成22年度八街市一般会計補正予算)は、

の改正に伴い、東日本大震災の被災者等に対して、市民 するにあたり、平成22年度八街市国民健康保険特別会計 なったことから、不足分を一般会計からの繰入金で対応 算を下回ることとなり、必要な財源が不足する見込みと 予算を補正する必要が生じたことから専決処分したもの **補正予算)**は、療養給付費等国庫負担金収入見込額が予 八街市税条例の関連部分を改正する必要が生じたため専 議案第4号(八街市税条例の一部改正)は、 議案第3号(平成22年度八街市国民健康保険特別会計 固定資産税等に係る特例措置が設けられたことから、 地方税法



議案第5号(平成23年度八街市一般会計補正予算)は、

貸住宅家賃の一部を補助するため、平成23年度八街市一 受け入居する場合に、避難者に対する生活支援として賃 東日本大震災又は東京電力福島第一原子力発電所の事故 般会計予算を補正する必要が生じたことから専決処分し により避難された方が、八街市内の民間賃貸住宅を借り

議案第6・7・8・9・10・11・12・13

直しが主なものです。 会条例の一部改正、八街市環境審議会条例の一部改正、 議会等)への参画に関する申し入れ」に伴う、 正は、八街市議会議長からの「執行機関の付属機関(審 員会条例の一部改正、八街市上水道委員会条例の一部改 会条例の一部改正、八街市住所の表示方法に関する審議 域審議会設置条例の一部改正、八街市スポーツ振興審議 八街市中小企業資金融資条例の一部改正、八街市消防委 八街市総合計画審議会条例の一部改正、八街市就学区 組織の見

期限を定めるなど、条例中の期限・期間を明確化するこ に関する条例の一部を改正する条例の制定について 市長が事業者等に対して必要な措置を命ずる場合には 議案第4号 八街市土地の埋立て等及び土砂等の規制

議案第15号 平成23年度八街市一般会計補正予算につ

6万9千円を増額するものです。 費600万4千円、中央公民館災害復旧事業費1千51 災にかかる災害復旧費として八街東小学校災害復旧事業 3万9千円、市債1千980万円を増額するものです。 額し、歳入歳出予算の総額を187億6千963万9千 蔵出は、榎戸駅整備事業費726万6千円、この度の震 円とするものです。歳入は、財政調整基金の繰入金86 この補正予算は既定の予算に2千843万9千円を増

住家被害認定調

議 疑

6月9日に、本定例会に提案された 議案について質疑を行いました。

(紙面の都合上、質疑の一部を掲載します。)

求は受けていないとのこと 務署に確認したところ、 す。 を過ぎてい ます Ó で、 税

議案第5 請

例の

部改正)

ことについて(八街

市

税 め

条 る ▼議案第

決処分の

承

認

を

求

問

ことについて(平成 街 決 市 処 分の 東日 わる被災者支援策 般会計補正予算) 承認 本大震災等に を 求 23 年度 め

る 場 本市 うことだが、 と利用状況を伺う。 答 対 だして補: 内に住 合にその 緊急支援策として 助を行うと 宅を の家賃の 制 度 借 IJ の 概 受 部 略 (1 け

家 補 賃 助 0 を 貸住宅に対する家 行うも 2 分 0 1 0) か 2 で、 万 月

度です。

所得税の申告時

す

在

0 こ考:

ところ

市 4 除

対

象に

えて 損控

ぇ

0

41

件

は、

雑

0

を交付して

いますの

で、

0

問 が

11

合 現 なると

わ

せ

は、

2

程

条例 ら の 会条例の 問 く必 議 街市スポ の制 緊案第 も が 要 っと論 審議会に市民 参 8 が 画 きある。 部 す 議 を る を 改

考えてい うに考えているのか伺う。 答 あり 変重要な 方につい を推進すること 本市 ます。 のスポーツ いてどの 市 審 審議 深め の 民 議 会 だ が 利 会 て か

- ツ振興 正 す 審 の る 委員 り 0 7 15 か ます

平 計 . 成 補正予 23年度 案第 15 街 市

般 숲 ょ 高 IJ だ 置 水火 が、 補 修

と受け 0 を が 整 (皆様 をご どの様に 備 参 か、 をど 加 ま 止 0) 審 できるような環 意見をし め 0) 議 整えて たい 様 41 多くの ただき と考え し つ T 4 市 11

境 民 < 0 用

して

4

ます

分

0 す

申

請

書

本

お

渡

補 0

助 どちら

つるも

0

で、

在、

か

低

11

方 現

0

額

P

す

17

ス

ポ

1

w

施

設

問

本計 的 が なります 問 な位 進 画 3 まし を 置、 策 .街東

槽は 震改修が必要な学 が必要と 東日本大震災 改 対 象だ な つ は た つ

せ

んでした。

ı

ı

?容を伺う。 駅 整備 事

業

の

た

か。

ま

た、

他

は

どう

の の

いか伺う。

ことで、 東口の開 形状 たの 定すること JRと協議 いなどの で、 設と 基 41 本 う 基

ŋ うの 0 を受けたところは、 0 要ということです 0 答 っます。 構造上の 問 震災により何 断 『題です。 0 は、 結果、 構造上の 高置 は、 小学校4 問題 耐震化とは 耐 耐 水)箇所 震補強 槽 の問題に 震工事と 校が耐 0 が、 か被 改 耐 あ 今 修 ŋ が 回 必 な 震 别

小 ·学校

ぐらい

の で

方

が 街

適用に

な

る

とし

て、

当

該被

災

者等

が

条

例

市

民

以はど

問

失につい

て、

雑損 て生じ

控

除

の

家財に

つい

た損

日

本

・大震災によって住宅

正ということで

東

地方税法の一

部

改

適

用と

いうことだが、

のか伺う。

答

0)

震に

関

7 今

41 件 口

0 地

罹災証

明 連

母集団交流大会(ヘルスバレー) 市スポー ツ少年団

市議会定例会の流れと議会用語解説

平成23年6月

第2回八街市議会定例会 会期:5月31日~6月17日(18日間)

5月31日 本会議(開会)

- 1. 会議録署名議員の指名
- 2. 会期の決定 ←
- 3. 議案の上程 ◆

提案理由説明

紹介議員の説明(請願)

4. 発議案の上程 ◆

提案理由説明

6月2日 本会議

6月3日 1. 一般質問 6月6日

6月9日 本会議

1. 議案・請願の質疑

委員会付託 ▲

6月13日~15日 各常任委員会

6月17日 本会議

1. 委員長報告、質疑、討論、採決

議会用語解説

会議録署名議員は、会議において2名指名 することなっています。

議会が法律上有効に活動できる期間であ る会期を議決で定めます。

市長が提出する議案には、条例の制定(改正)、 予算、決算などがあります。

請願は国民が国や地方自治体に対し、 定の希望を述べる憲法に保障された国民の 権利の一つで市政について要望がある方な ら誰でも請願することが出来ます。市議会 に請願する場合は市議会議員の紹介が必要

発議案とは、議員が議会の議決すべき事 件(条例の制定、提案理由の説明、意見書など) を提出することですが、予算については出

議員が市長等に市政全般について質問す るものです。

市長等が提案した議案を常任委員会等に 付託し詳細な審査を委員会に任せます。付 託を省略し本会議審査する場合もあります。

委員会での審査または調査を終えた事件 を委員長が審査の経過と結果について口頭 で報告します。

討論が集結すると原則として直ちに各議 員が賛成または 反対意思を表示し集計する ことをいいます。 通常の案件は過半数議決となります

市議会だより 平成23年(2011年)8月1日

する意見が出されたと聞

議会の中で、

誹謗中傷

ております。

全員協議

会にそぐわないのではな

らないと考えます。全員 めて考え直さなければな 摘されることの中で、 とは思っていません。指

委員会での審査

6月9日から15日に各委員会が開催さ れ、付託された議案等を審査しました。

(紙面の都合上、質疑の一部を掲載します。)

だとおっしゃっていまし

で、ご理解をいただきた るところでございますの めに一生懸命頑張ってい

例の一部を改正する条例 八街市総合計画審議会条

と思います。

問

総合計画

審議

슸

は、八街市の将来を

誹謗中傷の場所

全員協議会は

そ、

全議員が八街市のた

◆議案第6号

ればならな

それこ

総

務

いかと考えます。

全く事実ではありません。 いるかもしれませんが、 と思います。 いる人は、一人もいない 説明したりするところで 伝達事項、また、議案を はございますせん。報告、 たが、決してそんな場で 全員協議会をやって 誹謗中傷するつもり 誤解されて 一市民とし

うに考えても当然だと思 います。 の行動費になるというふ な気持ちで支援するため って下さい。」と言うよう ついて、「どうぞこれを使 ンパしてくれた支援金に 参考人 て皆さんが力

お招きして、

審査いたし

ました。

委員

全員協議会につい

理解してい

つしゃっていま

全体会議とお

議の公開を求める請願

参考人として請願者を

八街市議会全員協議会会

◆請願第23-2号

議

会

運

営

うけども、 ないでしょうか。 明すれば良かったのでは また、その場でもって説 というものも出てくるし、 援金かと言う言葉の誤差 援者の元に届くんでしょ 義援金ならば、 義援金か、 全額支 支

ますか。 ての内容は、

参考人

見握している その全てを

改

実憶測 から公平な議会運営でな はり市民の皆さんの立場 ることは出来ません。や 委員 の請願を鵜呑みす については、事 この請願文書

全員協議会とは?

議会議員の全員が集合し提出予定案件その他に ついて協議又は調整するために開かれる会議で、直接自治 自治法の規定に 基づき会議規則の定めるところにより設けられたものであ

えているのか。

考にあたり、どのように考 を果たさなくなる。委員選

などにより意見のある方

方の選定方法は、 ばならないので、 画を策定していかなけ

公募

市民

法に基づいて設けられるものではないが、 れば、議会活動となります。

を伺いながら、

総合

多くの市民の意見

◆議案第9号

職員、 問 答 と規定されています 知識経験を有する 現行では市議会議 委員15名の構成を 関係行政機関の

を改正する条例の制定 関する審議会条例の一部 八街市住所の表示方法に

市議会議員につ ない考えです。 として委員として委嘱し 委員会の中でしっか 計画などは、

消防

出

来るものとしています。

この内、

部を改正する条例の制定 八街市消防委員会条例の

を策定していきたいと 参画していただき、計

扱いはどの様になるのか。 及び市長が必要とする者 いるが、今後、この取り 市議会議員が1名入って とおり、学識経験者 の中に学識経験者で 議会からの方針の 現状で消防委員会

名競争入札にすることが が 工事等であっても、 特に認めた場合は、

うとするものです。 と認める者」に変更しよ 「その他市長が必要

だと思う。

不足委員につ

り論議していくのが大事

のか。 がどの様に対応していく 問 いくことも必要だと思う この審議会を廃止にして しないのであれば、 審議会を全く活用

文違、富山などの問題と ろいろな形で、へ番地、 ールはありませんが、い すぐに開催するスケジュ 番ネックと考えています。 予算が必要になるのが一 いるので、廃止と言うこ いうのは、 変えるには、相応の 住所の表示方法を 十分承知して

委員会付託分

슾

とでは、

審議会として役割

が形骸化される、あるいは

な位置にある。この審議会 語って行く場で、大変重要

意見が全く出ないと言うこ

おきたいと考えています。 とではなく、存続させて ◆議案第12号

計補正予算中、 平成23年度八街市一般 出になると思います。 ので、ある程度、 めていくことになります 方々で、 ◆議案第15号 経験された方々からの選 いては、公募するのか。 消防団本部の役員の 学識経験者の方、 今後の方針を決 総務常任 消防を

の か。 問 が、入札はどの様に行う 業者に仕事をして欲しい 出来るだけ多く地元 災害復旧工事は、

こととか、当分の間、 則設計金額が1千万円以 ています。この中で、 答 計金額が1千万円以上の 者の受注機会に配慮する 地域設定により、市内業 札とするが、資格要件の 上の工事等は一般競争入 てという通知を庁内にし 受注機会の拡大につい 4月20日に市内業者 入札に関しては 市長

文 教 福 祉

置条例の一部を改正する 八街市就学区域審議 ◆議案第7号 会設

常任委員会付託分

るが、地区代表者だけし 区代表者の捉え方を伺う。 かうたわれていない。地 区代表者が1号委員にな する者」とのことで、地 の就学について見識を有 実情を理解し、 問 えとして、 各小学校区より保 市議会議員の代替 児童生徒 「地域の

考えています。 学校評議員の中から学校 と協議して委員の委嘱を 護者の代表、 また、

審議内容を伺う。 開催されたか。また、 最近、 会議はいつ

平成22年7月13

日

区域で、 る部活がない場合は、希 学校の部活における就学 編成についての報告。中 への変更が可能になる等 は、 話し合いが行われまし する部活のある中学校 に開催しました。内 平成22年度の学級 中学校に希望す



計補正予算中、 ◆議案第15号 23年度八街市一般会 文教福祉

問 数を伺う。 なるのか。 水槽の素材は、何に 東小の新しい高置 また、耐用年

度ですが、鋼板製は、メ P製の耐用年数は20年程 いと言われています ーカーによると50年ぐら 水槽になります。FR トルぐらいの鋼板製 厚さ1センチメー

校は子供達が生活する場 ことが解っていながら、 育委員会の姿勢を伺う。 な対策が必要である。 所になるところで、早急 であり、災害時には避難 断か解らない。また、学 いる。何のための耐震診 そのままにしてしまって 問 年12月に危険である 中央公民館は、昨 教

す。 ここで明確にお答えでき 実現出来るのかとなると、 段階になっていつそれが 計画は立てますが、実施 いとなかなか出来ません。 答 財源的な裏付けがな 早期に改修したい 持っていま

様な形で、 中央公民館はどの 天井の耐

> ▼ 八街東小学校を視察する文教 福祉常任委員会



震化をするのか

なると考えています。 接して、かなりの強度に ですが、天井裏の鉄骨は、 と同じような物が付く形 総入れ替えし、上から溶 答 目は、 工事完了後の見た 現状のボート

されない理由を伺う。 と思う。今回、予算計上 明として付くようになる 耐久性、耐震性を求めら れるものが天吊りから照 について入っていないが、 問 工事では、照明設備 中央公民館の改修

ると考えています。器具、 工事で、安全なものにな していきたいと考えてい 球については、 強度についても改修 照明設備の吊りの 今後検討

◆議案第13号 経 済

> 建 設

を考えているのか。 については、どの様な方 問 の他市長が認める者 委員の有識者とそ

は、 答 います。 ら、選出したいと考えて 水道の職務経験者の中か 県水道局、印旛広域 の有識者について 現時点では、 水道

ば並びに商工会の代表をさ る者については、JAいん かと考えています。 れている方が適任ではない また、その他市長が認め

例の制定 条例の一部を改正する条 び土砂等の規制に関する ◆議案第14号 、街市土地の埋立て等及

すので、 答 危険箇所の修復など、 土砂の片付けや、 と言う文言にしました。 た結果「期限を定めて」 いろな状況がありま 違反現場 検察庁と協議し は 崩落の 41 措 ろ

> のか等の場合があります。 命令をかける場合、

常任委員会付託分 計補正予算中、

う。 榎戸駅の基本計画

す。 設計が必要になってきま 施工にあたっては、詳 事業費の積算となります。 を定め、これに伴う概算 協議しながら基本的な姿

か。 Rと確約はとれている 問 積を伺う。また、J 基本計画の対象面 の

では、 いて、 答 こういった絶好の機会を 昨年度末から今年度にか 頂けなかったのですが、 口の開設と言うことにつ 活かしたいと考えてい けて進展があったので、 の設定はありません。 JRとの協議の中 前向きなお答えが 目的なので、 榎戸駅東口の開 面 東 ま 積 設

か。

問

期限を定めること

とは、

どの様なこと

場によって状況が違うの るのか、3カ月で出来る それが1カ月で出来

例

の一部を改正する条例の 八街市上水道委員会条

平成23年度八街市一般会 ◆議案第15号 経済建設

本的な位置をJRと 作成業務の内容を伺 基本的な構造、 基 細

国による支援に関する請

消費者行政充実の ◆請願第23-3号、

いための

地方

村 は 21、 問 していない市町村は4あ 相談体制そのものを整備 町村は14である。また、 に職員が対応している市 談員を配置している市町 市町村は17、 センターを設置している 八街市の現状を伺う。 20年度で消費生活 千葉県内では、 相談員を置かず 消費生活相

まで、 嘱して月曜日から金曜 談員については、4名 より活用しています。 政活性化基金を平成21年 してお 答 生活センターを設置 相談業務に携わ り、地方消費者行 八街市では、 消費 相

ています。

▼JR榎戸駅

市政を問

一般質問は、 市の行財政全般にわたって、 執行機関に疑問点をただし、 見解を求めるものです。 6月定例会の 一般質問は、 2日(木)、 3日(金)、 6日(月)の3日間に12名の議員が質問しました。

(ここでは紙面の関係で、 その一部を要約して掲載しています。)



していることが大事であ 長時間の停電等を考え が正常に機能を維持

市独

考えています。

れていけるよう努めたいと

問 災害時には自治体 防 災

が、対応を伺う。 マップの避難所の場所がわ ているか。また、ハザード かりにくい等の問題もある 問 画は、どの様になっ 本市の地域防災計

災有識者会議の声を拝聴 ただきたいと考えてい 見づらいというご指摘につ ップの避難所の位置表記が す。次に、地震ハザードマ がら進めたいと考えていま 防災計画と整合性を図りな 踏まえるとともに、 せて、位置の確認をして、 いては、防災マップと合わ 市地域防災計画を見直す際 ていませんが、今後、 グニチュード 9.0 の想定はし 市長 東日本大震災の規模を 国・県や関係機関等の 災計画では、 地域防

せんが、 現在、 図るとともに、今後、 すので、 スの登録についての周知を 信されるサービスがありま 葉防災メールから情報を配 ル登録することにより、 防災ポータルサイトにメー 市長 本市は実施していま このメールサービ 千葉県では千葉県 災害時等のメ ルサービスは、

市

現在の地域

でいくのか。

うが、どのように取り組ん

要員確保が喫緊の課題と思

している消防団員の

地域の情報に精通

保管し、 では職員が直接耐火金庫に く要望するが如何か。 できるシステムの構築を強 防災避難情報がメール受信 イの問題も踏まえ、現時点 になっており、セキュリテ て別の場所で管理すること 管するか、データを複製し 万法として、耐火金庫に保 ている携帯電話で、 今、かなり普及し 管理しています。

を望むが、 親子の育成のために、ぜひ、 ブックスタート事業の実施 問 10年、20年後の健全な な事業のひとつとし 子育て支援の大事 如何か。

まだ実施に至っていません を乳幼児健診などに取り入 が、今後、 長 トは、 ブックスタート ブックスター 本市では

個人質問

地域防災計画と防災メール 消防団の要員確保とブックスタートについて

新宅

考えるが如何か。 制のバックアップが必要と 市の情報維持のため電算体

ても、実施の方向で検討し

たいと考えています。

れている保護データの管理 夕保護管理規定では記録さ 市長 算組織処理デー 八街市電子計

範囲が広がり、消防団員の くりに取り組んでいます。 確保と入団しやすい環境づ を緩和することで、対象の 市長 条例の任用要件 八街市消防 寸

子 育 て 支 援

自のメールサービスについ

人間ドックの助成と榎戸地域の道路拡幅問題 八街市行財政改革プラン」につい

健 康 増 進 策

と考えるが如何か。 助成制度の導入は急ぐべき 問 ックや脳ドックへの 予防医学の人間ド

盛り込めるよう努めます。 を平成24年度の当初予算に 関等との調整を行い、まず 村の実施状況調査や医療機 人間ドックの助成制度 るよう、県内市町 早期に実施でき

道 路 整 備

体制、 ル等の対応について伺う。 問 の被害の掌握や初動 市内の点検パトロー

被害は確認出来ませんでし ールを実施し、道路の安全 市道の定期的なパトロ 今後も災害時はもとよ 維持に努めます。 道の損傷などの 東日本大震災以降

見据えながら、調査・研究

面での取り組みは、

前集中

を頂くよう努めます。歳出 に、納税に関してのご理解 税等徴収対策本部」を中心

したいと考えています。

地震による市

極端に道幅が狭い危険箇所 問 近の市道は、 榎戸配水場入口付 現在、

であるが、

道路査定や認定

Ш 上 雄次

公明党

幅員の見直しなどで、 できないか伺う。 改善

市長

防

災

行

政

無

拡幅工事を今年度中に実施 幅員を有効活用し、舗装の チの幅員があるので、この としては8メートル20セン 5メートルで、狭くなって します。 いますが、道路の認定幅員 市 長 ける舗装幅は約 この現場にお

置き、

の削減に取り組みます。

八街市行財政改革プラン

八街市地球温暖化対策 実行計画

問

「八街市行財政改

革プラン」の内容の

温暖化対策の普及策が必要 化対策も現行の実行計画を と思うが、 問 市 長 今後は市内の各家 事業所への温暖 市内事業所への 考えを伺う。 市内各家庭

確保について、

「八街市市 市税等の いて伺う。

市長

重点施策とし

ては、

り組みや具体的な施策につ 重点施策、新規性などの取

べきと思うが如何か。 体制の明確な取り組みをす トチームを編成して、責任 ム」手法によるプロジェク 問 「環境マネジメントシステ 求められています。 高い節電の目標が

全庁的な取り組

個人質問

任者及び環境行動推進員を 備は、各課等で環境推進責 温室効果ガス排出量 みで計画の実効性 効率化を推進し 点検体制の整 民の皆様からその声は随 が聞こえない」など、市 命綱であるが、「防災無線 所に聞かれる。 問 防災行政無線は

ます。推進、 の確保と、

とする増設は難しく、 の無線施設の更新の課題と 市 個別受信機は

地震に強いまちづくり

すが、 いて、今後の対応を伺う。 断の補助制度の実績は1件で 再質問 耐震改修補助事業につ は建物耐震診 平成22年度

助成する補助制度を予定し ています。 から耐震改修工事に対して 都市計画課長 24年度 平成

低下をおこさないよう引き

本年

回る職員削減となりました 改革プランの中で目標を上

今後も市民サービスの

防災拠点の整備の充実

給与等の削減を行って参り

度も特別職等を初めとした 続き適正配置に努め、

線 問

石井

孝昭

市

長

市庁舎において

機補助制度の取り組みに ついて伺う。 私たち市民の情報の 個別受信 を確保出来るか調査研究し 市長

十分な非常用電源

る。

市の今後の対応を伺う。

経済環境部長

ヤ等を含めて、

苗を公共

っているところも増えてい

配付をして、

節電対策を行 庭に苗の無償 他市では家

再質問

考えています んでおり個別受信機を補助 親機の老朽化が進

水場所等の対応も充実した 市長

節電目標対策について

いと考えています

問 市長 について伺う。 具体的な取り組み 市庁舎における

月比25%以上として取り組 問 んでいます。 の推進について伺う。 緑のカーテン事業 節電目標を昨年同

安全・安心なまちづくりと農業振興について

活用や非常用自家発電装置 用電源について、平常時は の充実について伺う。 節電にもなる太陽光発電の となる市役所の非常 中核的な防災拠点 今後、どの様に

えるが如何か。 給水設備の充実が必要と考 井戸(防災井戸)の設置など 問 たいと考えています。 設備として、非常用 避難所等における

等の資機材を充実させ、 電源となる発電機 停電時の代替え

対応及び風評被害に対して の対応について伺う。 問 物の損害額の現状と 本市における農産

対応したいと考えていま に努めていきます。 す。また、風評被害の 市 長 査等を実施し、 損害状況の調

※その他の質問 ◆田畑の売買や貸借の下限 面積について

◆放射能汚染モニタリング 調査等について

の一環として実施します。

市民への節電PR

う、

検討したいと思います。

農

業

振

興

市民の方に配付できるよ 施設はもちろん、希望する 献する。

残りは被災地でボ

個人質問

地域防災計画の見直しを求める

防 災 問 題

か。 問 直 しを求めるが如何 地域防災計画の見

を図りながら進めます。 国や県の防災計画と整合性 市 長 八街市地震ハザー 者の声を拝聴し、

問

ドマップには様々な

切な箇所があり、 めるが如何か。 問題点がある。 ページなどで周知していま 正を広報やちまたやホーム 長 に内容等に不適 ご指摘のよう 再作成を求 内容の訂

東日本大震災について

です。

ご理解ください。

す。再作成については困難

再質問

れる。 地方を観光し地域振興に貢 ランティアの役割が求めら 復興活動を支えるうえでボ 越した。息の長い被災地の 再質問 例えば、一日は東北 援活動は峠を 緊急時の支

う。

計画する場合、 ランティアをする。 いて社会福祉協議会などが るボランティアツァーにつ 市保有バス いわゆ 桜田

の活用ができないか伺う。 総務部長 してそうし 原則論と

地域防災有識

項と考えます。 んが、当然、 た利用法は想定していませ 検討すべき事

ついて伺う。 再質問 住宅の提供に 被災者への

都市計画課長

市内

宅は3件を用意しています。 宅に1軒入居され、 市営住 県営住

システム)に ann

件について伺 始されたが、 本市の起動条 から運用が開 ついて、4月

総 № 務部長

よって運用さ 全国基準に

秀雄

す。 と記憶しています。 降に1回防災無線が鳴った は震度4以上で起動しま れていますが、 このシステムで4月以 地震の場合

道 路問題 につい て

思うが如何か。 整備するよう上申すべきと 問 について、県に先行 五区交差点の改良

てまいります。 差点の安全確保の観点か 得の進捗状況を勘案し、 に努力しています。 市 長 必要に応じ県と協議し 北側の用地取得 現在、 交差点 用地 交 取





う計画です。 収をし、

竹中団地地先

排水整備工事を行

ことから、

今年度、

用地買

社付近の冠水対策は、 排水溝改良から白松の郷神

平成

齢者無料化の考えに

ふれあいバスの高

問

質問

住みやすい街づくりを求めて!

個人

住みやすい街づくり

別養護老人ホームに関わる 冠水対策について伺う。 64番地先の排水計画と特 付近の冠水対策、八街ほ1 水溝改良から白松の郷神社 問 付近・竹中団地先排 富山テニスコー 特別養護老人ホ

側溝の布設替えをし、 番地先の排水計画は、 えています。八街ほ164 いような指導をしたいと考 排水状況に悪い影響が出な 老人ホームにより、 る方向で協議を進めており う区域内の雨水等排水計画 102号線の側溝に接続す は 市 区19号線が冠水している 長 一旦区域内で調整し ーム建設計画に伴 周辺の 市道 市道

どの様になっているのか。 問

したいと考えています 市 長

市 長 後も高齢者の方に バス料金は、

と考えています。

たが、

白松の郷下流から六

を調整池として整備しまし 19年度に下流の六ツ塚谷津

ツ塚調整池の間は整備が必 整備が出来るよう検討した 要ですので、 いと考えています。 今後計画的に

います。

を設置する考えはないか。 ない大変危険な場合にふた 再質問 溝が確認出来 冠水して側 何年か

たいと考えています。 たかけは、 施工になると思います。 建設部参事 前向きに検討し かけての ふ

問

資産割がない自治

今後とも整備について要望 と考えていますが、現在、 計画が進められていません。 交差点整備の具体的な整備 む歩道整備が必要 右折レーンを含

高齢化社会に向けて

ついて伺う。

小 髙 良則

もご負担頂く方向で考えて

問 いるのか。 婚活促進は考えて

施内容を、 したいと考えています。 市 長 自治体の状況や実 今後調査・研究 県内で実施した

国 民 健 康保険 税

と一体で行わなければなら 可能です。 す。 討したいと考えています。 ないので、今後、慎重に検 市 長 廃止出来ないか伺う。 体も数多く目立ちま は、 所得割の見直し 資産割の廃止 制度上実施

の右折ライン計画は

市役所入口交差点

問 えについて伺う。 国保の広域化の考

付けられるよう努めたい 地域保険として担うべき 新しい国保制度に国保が 保運営の広域化の実現に 役割と責務が明確に位置 向けた取り組みを推進し、 市 長 目しながら、 国の動向に 玉

個人質問

東日本大震災による被害、放射能問題、電力不足について問う。 大規模災害に強い八街市をつくるために!

東日本大震災による被 害の現状と、総括検証、 被災地に対する支援

問 伺う。 八街市の被害額を

なる見込みです。 市長 総額は3千700万円弱と 公共施設等の被害 額は把握していま 個人住宅の被害

どの様に活かすのか。 じる。 職員の意識が高まったと感 に出ていると聞くが、 再質問 様々な意見が自発的 ζ 震災を通じ 以前より 今後

あげると、「対策本部の組織 総務部長 員の意見を 幾つか職

ました。実際に行動した職 の行動マニュアルの作成_ 害用資機材の充実。各業務 の情報伝達のあり方。」「災 ないか。」「広報など市民へ 直しする必要があるのでは 方、業務分担の内容等を見 命令、情報の伝達等のあり 提案があり

出

見直しに反映させます。 め検証し、地域防災計画の

どの様に考えているのか。 問 被災地に対する支 人的支援を今後

ので、 踏まえ、できる限りの支援 を積極的に実施します。 市長 県や市長会の動向を 施する必要がある 長期にわたり実

放射性 物質の対応

か伺う。 必要があるが、 れていないことを証明する 再質問 土壌が汚染さ 調査したの 本市の畑の

協議をし、必要な時期を見 経済環境部長 は国と 県ある

る必要があるのではないか て検査について検討します。 再質問 及は県に求め 線量計の普

制度のよい測定器を購入し、 台を確保しているが、県で 校に合計16台。市で現在4 各保育園、 経済環境部長 幼稚園、 定器は、 小中学

員の生の声を真摯に受け止

市町村に貸し出すとのこと 孝弘

なので、 定します。 節 電 測定器を確保し測 対 策

延長・休日保育拡大を要請 しているが市の考えを伺う。 問 市 長 労働省が保育所等の 節電対策で、 り各都道府県など 厚生労働省よ 厚生

に対し、 関する要望がありません。 長保育や休日保育の拡充に 現時点までに保護者から延 されていますが、 握と実施体制の確保を要請 利用者ニーズの把 本市には

くのか伺う。 問 どのように考えてい 節電普及について、

けるよう啓発します。 むことにより、 が率先して節電に取り組 を制限します。 コンの使用期間及び時間 時間の減灯、夏場の 度比25%以上とし、職務 し節電にご協力をいただ 市 長 節電目標を前 庁舎における なお、 市民に対 エア 市 年

問

八街駅南口の活性

簡易測

個人質問

安心なまち・活力あるまちづくりのために

安全 で 安 心 な まち

ば多くの方に知って頂くよ の考え、 なかったことも機会があれ めているところですが、 利用して、本市のPRに努 した。日頃、様々な機会を 回の震災において被害が少 被害が少ない地域でありま 市 問 長 啓発と被災者受入れ 計画について伺う この度の震災で 本市は比較的

ŧ は指示しているところであ 避難場所への受入れ体制に う努めて参ります。また、 施したいと考えています。 り、その他の支援について を確保するように、担当に ついては、 できる限り積極的に実 常に万全な状態

活 気 あふれるまち

ることを目的に「八街駅周 ついて伺う。 市 化のための具体策に 周辺の活性化を図 本年度、 八街駅

手したいと考えています。

も含めて、

計画づくりに着

施設建設の可能な時期など

安全なまち八街

取り組みについて伺う。 問 心 ゅ 施設の計画と今後の

総務部長

施設内容

内には、 005第2次基本計画で どんなものにするのかや、 ととしており、 の整備計画の検討を行うこ は、この複合的な文化施設 ろです。八街市総合計画2 用地が確保されているとこ を整備するため、公共施設 を推進する中で、

林

修三

されている八街駅周辺の特 容を主に協議いたします。 各種事業の実施に向けた内 店会及び商業者団体で組織 副市長を会長にし、JAい 辺地域活性化協議会」を設 に商業活性化を目指した、 し「八街TMO構想」に示 んば、八街商工会議所、 立しました。この協議会は、

たかなま 八街駅北口の文化 5 もう一度伺う。 いる。文化施設について また、PFIなどの民間活

市 長 複合的な文化施設 土地区画整理事業 八街駅北側地区 施設内容は 本事業地

> 画を市民はすごく求めて 文化施設が建設される計 りない。もう少し早期に、 その拠点となる施設が足 発に活動していますが、 の内容につきましても、 と思われますので、これら 力の導入も一つの整備手法 究したいと考えています。 再質問 文化団体が活 八街市は各

現在の状況でございます。 来るだけ早く着手するよう くりについて、 するのかについての計画づ ※その他の質問 くりに着手したいのが、 で、出来るだけ早い計画づ にと指示も受けていますの 市長から出 をどの様に 今

◆防災の備蓄の現状と今後 の計画

◆高齢者にやさしいまちづ ▼八街市活力化に向けた企 業誘致の計画

長

器により定期的に

的に参加し、

風評被害の防

止に努めます。

土壌検査は

るため、

イベント等に積極

全性をアピールす 八街産野菜の安

測定する予定です。

[] 大質問

原発事故の不安解消、 対策強化を

まちづくりについて くらし・福祉・防災の

再質問

伺う。 ると思うが、 のゆき届いた街づくりであ 問 暮らし・福祉・防災 災害に強い街は 市長の見解を

> 教育委員会の見解を伺う。 市の暫定的な結果から

教育次長

指すとしているが、八街

ト以下に抑えることを目

力所、

0・27マイクロシー

測定時は2 1回目の

線量に計算しますと4."ョシ

ベルトであり、年間の放射

市の責務であると考えてお ということは一体であり 守る」、「災害から命を守る」 ています。 盤とネットワークがあって 福祉面では「住民の福祉を て取り組む考えです。また、 を発揮できるものと認識し こそ、災害時にも大きな力 市長 普段から医療や介護 子育て支援などの基 画」に基づい 「八街市総合

測定したところ、いずれも

を置く等、

値が出ています。その後、

ーベルトで、若干超える数

市

長

共施設にチラシ

区長回覧や公

原 発 問 題

測定体制を求めるが如何か。 の測定について、 幼稚園の放射線量 簡易放射線測定 継続的な

市

長

問 小中学校・保育園

の土壌調査をしては如何か。

民・消費者への理解を得る る測定結果が出ており、市 草・生茶葉への基準を上回

市

ためにも、市内全域の農地

日本共産党 丸山 わき子

ミリシーベル 文科省は1 討します。 国や県と協議をしながら検

が如何か。 市民に届けることを求める ていない。あらゆる手段で 多くの市民には情報が届い ージに公表されてきたが、 この間の情報は、 な情報提供について伺う。 問 対し、 原発事故の不安に 市民への的確 ホームペ

の導入を求めるが如何か。 庭が活用ができるよう制度 ており、本市でも多くの家 自治体が助成制度を実施し て伺う。県内では、 の情報提供を検討します。 問 ム設置助成制度つい 太陽光発電システ さまざまな形で 既 に 16

認識をしています。

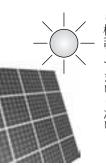
問

ですので、安全な数値だと 0.1マイクロシーベルト以下

取り組みについて伺う。牧

ンドの落花生を守る 八街の野菜、ブラ

ら検討してまいりたい。 長 の方針を見なが 今後の国・県



問

交通安全対策の強化を

個人

交 通 安 全

何か。 周知徹底すべきと思うが如 高速度見直しの通達内容を 達を出したが、市民はその 内容を知らない。市民に最 行うよう都道府県警察に通 直しを平成23年度末までに が設置されていない生活道 生活道路整備への不満が 路の時速30キロ規制等の見 待ったなしの課題である。 の整備・交通安全の強化は 84・7%を占め、生活道路 問 警察庁は、通学路や歩道 ケートでは、 市が実施したアン 身近な

拡大等を検討するよう指導 対策として、 している。また、交通安全 交通環境を点検し路側帯の しています。 市 長 文書では、 警察庁の通達 看板等を設置 道路

んのご意見をお聞かせくだ の通達に対し「市民の皆さ 事故を減らせない。警察庁 再質問 り方だけでは 今までのや

事故防止策も検討します。

日本共産党

さい」と広報に載せるべき ではないか。 規制 0

ら長年改善されていない。 家のフェンスが壊され危険 改善を求めるが如何か。 大型車両進入規制の早急な である。通学路でありなが 全を保てると思います。 広げる等を実施する方が安 問 副市長 大型車の侵入により民 東金道入口の道路 市道六区1号線、

市

長

ビスに制限を設

生活援助サー

制は難しいと考えます。 要望しましたが、規制に伴 たな交通事情等のため、 う迂回車両の影響による新 市長 倉警察署に再度 規

と考えます。

事故が起きやすい市道文違 1号線の「白松の郷」 **通路の安全対策を伺う。** 市長 出ている急カーブで 住民から要望書が め舗装等による 今後、 滑り止 前の

介護保険の充実を

京増 藤江

対し、「サービス切り捨て ら外そうとしている。 軽度者を介護保険の対象か めるべきと思うが如何か。 ではなく充実するよう」求 問 度について政府は、 第5期介護保険制 国に

路側帯を

前

な介護保険料を設定したい あり、軽減を求めるがどうか。 問 市 長 率は県下ワースト1で 介護保険料の収納 を踏まえ、 国の基本方針 適切

じて国に要望します。 けないよう全国市長会を通

本年3月に佐

あるがどうか。 険料支払い年齢を引き下げ き下げようとしている。 ないよう国に求めるべきで 支払い年齢を39歳以下に引 再質問 は介護保険料 厚生労働省

いと考えています。 決まる前に国に要望した 年齢引き下げについては、 介護保険課長 険者の 被保

福祉と防災に強い安心のまちづくりを

個人質問

国民健康保険について

国保税の引き下げ

めるが如何か。 保険となっている。とりわ 割の見直しで引き下げを求 している。応能・応益負担 自の国保税引き下げに努力 ている。多くの自治体は独 保険税の引き上げは、さら け、平成16年4月の大幅な 期保険証、資格証明書、 国保加入世帯の約2割が短 る」と悲鳴が上がっており、 に滞納者の増加を生み出し く不況のもとで、「高すぎ 問 について伺う。長引 ます。 問

ません。 担割合の見直しも考えてい えます。応能割・応益割負 市長 は難しいと考 保険税率の改

市長

今後、皆様の意

求めるが如何か。 取り組みを強め、 う。 問 健康管理、 の無料化について伺 75歳以上の医療費 健康増進の 無料化を

考えはありません。支払 長 制度を創設する 市独自で助成

日本共産党 右山

一部負担 正美

制度を利用していただき 金の減免及び徴収猶予の い困難な方は、 たいと考えます。

早期発見・早期治

同時に、医療費の増加を抑 負担とさせていただいてい 無料化を求めるが如何か。 えることができる。検診の 市 長 療が人命を守るのと 則の観点から一部 受益者負担の原

防災対策について

か。

きと思うが如何か。 参加で自主策定を進めるべ 情を踏まえ、専門家・住民 問 いて伺う。地域の実 地域防災計画につ

ます。 し、見直しをしたいと考え の実情に合ったものを検討 見等を反映し、市

全か。 問 学校・公共施設は万 避難場所の庁舎・

長 工事、 第2庁舎の補強 朝陽小の改

市

公民館の耐震補強を実施す 築事業、 る予定です。 八街東小の耐震補強、 川上小・交進小・ 中央

活性化にもつながるが如何 成制度と共に進めれば地域 宅の耐震化、補強の助成を 求めるが如何か。 問 また、住宅リフォーム助 りについて伺う。住 地震に強い街づく

ています。 度より耐震診断判定値が1.0 る予定はありません。24年 オーム助成は現在、 成をしています。 修工事の補助制度を予定し 未満の住宅について耐震改 市 長 震診断の一部助 木造住宅に耐 住宅リフ 実施す

問 市 長 求めるが如何か。 放送地区を分

防災無線の改善を

います。 の実施を考えて るなどしていま 時間差放送にす 防災メール шшшшш



害と対応策について 東日本大震災による被

応・対策について伺う。 問 市 長 個々の被害状況、 公共施設及び市民 庁舎の被害は

校では、 損があり、9月末までに改修 あり、8月末までに改修予 備の破損、八街北小学校で した。学校及び教育施設で 行しているところです。 会議室天井の軽量鉄骨に破 定です。中央公民館は、 改修しました。八街東小学 査票に沿い、り災証明書を発 被災者生活再建支援制度の調 は体育館の天井落下があり は、八街中学校で受変電設 の照明カバー脱落がありま 予定です。市民個々の被害は 部タイルの剥がれ、 高置水槽の破損が 壁等への亀裂 議場

策について伺う。 問 市 と、今後の対応・ 農産物の風評被害

と考えています。

定規制値を超える放射性物 長 葉の検査では、 5月19日の生茶 暫 援について伺う。 問

宅困難者に対する支

け県に協力したいと考えて

います。

災害時における帰

早期の工事着手、 残りの1.㎞用地取得、 施すると聞いています。

完成に向 また

対 査を実施し、 き続き県と協議しながら検 事業者及び生産者に、 の自粛を要請しました。引 安全性をアピールするため

ど風評被害の防止に努めた 供給対策について伺う。 観光イベント「千葉から日 いと考えています。 本を元気に」に参加するな 問 所や公共施設の電力 災害停電時の市役

来るかを調査・研究したい 燃料が十分に確保出来るか です。エンジン発電装置は、 不安定であり、設置費用は が課題となり、太陽光発電 で、供給時間は概ね1時間 に終了させるためのもの 十分な非常用電源を確保出 莫大です。今後どのように は、天気や昼夜に左右され は、 市 各種のシステムを安全 長 る無停電電源装置 現在設置してあ

東日本大震災による被害対策は。 やちまた21

質が検出されたため、 関係 小澤

八街産野菜の 出荷 て開放し、 ついて伺う。 毛布の提供等を行いました。 パン等の食料や水の供給 問 市 長 おにぎりやカップ麺 飲料水の供給体制に 災害時に断水した 道場を避難所とし 47名の方を受け 八街中学校の武

いと考えています。 んでしたが、断水した場合 に給水所を設けて対応した 市 長 市役所などの公共施設 は、 本市の上水道 断水しませ

道路問題について

替え、反射板の設置など実 では、 故が発生しているため、 の進捗状況を伺う。 問 市 長 ガードレールの色を 開通後の状況と今後 八街バイパス部分 ルに接触する事 旧ガードレー 県

定明

長

指定出来ないか。

所を避難場所として

公共施設以外の場

考えています。

問

難場所としては適していま

後は、一時的な避

大規模な災害直

問

個人質問

東日本大震災での復興支援の状況は、

防災

問 津波や福島原発の爆 今回の大震災後大

届いた。被災地への復旧 発事故をめぐり、 の言葉が連日のように耳に 復興支援の状況を伺う。 被災地の復興 想定外と

問

る必要がなく、長距離の施 いに作業スペースを確保す

工が可能なシールド工法を

事実上不可能です。

国道沿

一時的なものとして捉 被災地の復興に向け は始まったばか 長期にわ

って、 りであり、今後も国を中心 たり継続して実施していく て支援していかなければな を含め日本全体が一体とな に県や市町村、民間企業等

できる限りの支援を積極的 必要がありますので、県や えるのではなく、 りません。また、復興支援 に実施したいと考えていま 市長会の動向を踏まえて、

事業について 大池第三雨水幹線整備

> 要である。市の花・市の鳥 関心を深めていくことも必 ていく作業により、行政に

した理由を伺う。 間をシールド工法と 1千420mの区

たいと思います。

災害について

れます。 すが、 定することは難しいと思わ 題などあり、 と備蓄倉庫や安否確認の問 避難が長期的になる 避難場所に指

民の避難訓練について伺う。 難誘導計画や一般市 高齢者に対する避 高齢者の避難は

らの声かけや見守りなど地 域における各種活動との連 民生委員などによる普段か 市長 日頃より、自治会、

携を深め、近隣のネットワ 関と協議して実施したいと る訓練は、各地域単位でき ます。また、市民が参加す り安全に避難できると考え ので、要望に応え、関係機 め細かい対応が期待できる いて確認しておくことによ から避難所までの経路につ ークづくりを進め、ご自宅

> 問 市の花・市の鳥の制定 し、推進して決定し 大勢の市民で提案

きながら、 を制定する考えはないか。 様に参画いただ 前向きに検討し 広く市民の皆

市

長

加 弘

やちまた21

開削工法で施工することは 市 長 量がかなり多く、 国道は、 交通



選択しました。 の内訳を伺う。 年度別の総事業費

問

9億円、平成27年度に約 億円を見込んでいます。 シールド工法施工により約 費約1億円、平成26年度に 年度にシールドマシン製作 費として約5億円、平成25 市 長 進工費及び開削工 平成24年度に推

全国市議会議長会定例表彰の報告

右山正美議員は、 子議員(特別表彰)、 小澤定明議 丸山わき 員、 市議会議員として市政の振興と地方自治の進展に尽くされた功績により、 本会表彰規程により表彰されました。 第87回全国市議会議長会定期総会において、



わき子 議員 丸 山

日本共産党 昭和53年初当選(町議) 現在9期目



▲6月17日本会議場で行われた伝達式



明 議員 濹 定 小

やちまた21 平成7年初当選 現在4期目



山 正 美 議員 右

日本共産党 平成7年初当選 現在4期目

意見書を国会、国、県などに提出しました!

義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書

義務教育費国庫負担制度は、憲法上の要請として、教育の機会均等とその水準の維持向上をめざして、子どもたちの経済的、 地理的な条件や居住地のいかんにかかわらず無償で義務教育を受ける機会を保障し、かつ、一定水準の教育を確保するという 国の責務を果たすものです。

政府は、平成23年度の通常国会において、国から地方への補助金を廃止し、地方が自由に使える「一括交付金」を制度化しようとしています。義務教育と社会保障の必要額は確保するとしていますが、義務教育費国庫負担制度についても論議される可能性があります。

義務教育における国と地方の役割等について十分議論がされないまま、地方分権推進の名のもとに、このような検討が現実のものとなると、義務教育の円滑な推進に大きな影響を及ぼすことが憂慮されます。また、義務教育費国庫負担制度が廃止された場合、義務教育の水準に格差が生まれることは必至であります。

よって、国においては、21世紀の子どもたちの教育に責任を持つとともに、教育水準の維持向上と地方財政の安定を図るため、義務教育費国庫負担制度を堅持するよう強く求めます。

国における平成24年度教育予算拡充に関する意見書

(一部抜粋)

千葉県及び県内各市町村においても、一人ひとりの個性を尊重しながら、生きる力と豊かな人間性の育成をめざしていく必要があります。そのための様々な教育施策の展開には、財政状況の厳しい現状をみれば、国からの財政的な支援等の協力が不可欠です。充実した教育を実現させるためには、子どもたちの教育環境の整備を一層進める必要があります。

平成24年度に向けての予算の充実をしていただきたい。

- 1. 教育に関する震災支援策を十分にはかること。
- 1. 少人数学級を実現するため、「新『公立義務教育諸学校教職員定数改善計画』」を早期に実現すること。
- 1. 保護者の教育費負担を軽減するために義務教育教科書無償制度を堅持すること。
- 1. 現在の経済状況を鑑み、就学援助に関わる予算を拡充すること。
- 1. 子どもたちが地域で活動できる総合型地域クラブの育成等、環境・条件を整備すること。
- 1. 危険校舎、老朽校舎の改築やエアコン、洋式トイレ設置等の公立学校施設整備費を充実すること。
- 1. 子どもの安全と充実した学習環境を保障するために、基準財政需要額を改善し、地方交付税交付金を増額することなど。

国においては、教育が未来への先行投資であり、日本の未来を担う子どもたちに十分な教育を保障することが、国民の共通した使命であることを再認識され、国財政が非常に厳しい状況の中ではあるが、必要な教育予算を確保することを強く要望します。

地方消費者行政に対する国の実効的支援を求める意見書

(一部抜粋)

1 (実効的な財政措置)

国は、地方自治体の消費者行政の充実に確実につながるよう、地方消費者行政活性化基金等の延長も視野に入れつつ、一定の幅を持たせながらも使途を消費者行政と明示した継続的かつ実効的な財政支援を行うこと。

2 [地方自治体にとって利用しやすい制度枠組みの提示]

すべての地方自治体が身近で専門性の高い消費生活相談窓口を消費者に提供するという観点から、国は、あるべき相談窓口の姿について一定の目安を提示するとともに、これを単独で実現することが困難な小規模自治体も多数存在することから、都道府県と市町村とが広域的に連携して相談窓口を設置する方策など、地方自治体にとって利用しやすい制度枠組みを提示すること。

3〔消費生活相談員の地位・待遇の向上を可能とすることができる任用制度の創設〕

消費者が安心して相談できる消費生活相談窓口の充実・強化を図るため、相談を担う専門家である消費生活相談員を含め、常勤はもちろん非常勤の立場であっても、専門性に見合った待遇のもとで安定して勤務できる専門職任用制度の整備を行うこと。

東京電力株式会社福島第一原子力発電所において発生した事故に伴う農産物 被害に対する迅速な対応に関する意見書

今回の東京電力株式会社福島第一原子力発電所において発生した事故に伴い、千葉県内においても国の定めた暫定基準値を超える放射性ヨウ素及び放射性セシウムが検出され農作物の出荷制限を余儀なくされております。

本市においても、5 月 1 9 日に実施された生茶葉の検査では、暫定規制値を超える放射性セシウムが検出されたため、関係事業者及び生産者に対し出荷の自粛が要請されたところであります。

このことから、次のとおり要望いたします。

記

- 1. 生茶葉から国の暫定基準値を超える放射性セシウムが検出されたが生茶葉のみの補償に限らず、加工販売業者への補償及び、ほうれんそう等の農産物が風評被害により出荷自粛せざるを得ない場合においても、きめ細かな補償をお願いいたします。
- 2. 東京電力株式会社福島第一原子力発電所において発生した事故は終息しておらず、放射性物質の飛散は避けられない状況にあることから、これから生産される農産物におきましても、品目を増やすなど、検査の徹底をお願いいたします。

市民の皆様へお知らせ

八街駅自由通路掲示板に随時、 「議会からのお知らせ」を掲示しています。 お近くにいらした際には、どうぞご覧ください。

みんなで徹底しよう「三ない運動」



総務省・(財)明るい選挙推進協会

6 月 5月 30日・商工会議所通常議員総会29日・中町村職員年金者連盟八街支部定期総会(佐倉市)24日・市町村職員年金者連盟八街支部定期総会 26 23 22 日 日 日 17 日 2 日 22 日 • 12日・がんばろう!千葉観光キャンペ 5日·近隣中学校交流野球大会 3日・管工事協同組合総会 6日·地域防災有識者会議 日・遺族会総会 ★議長 ・文化協会定例総会 ・産業まつり実行委員会 印旛郡市民体育大会出場選手の激励 印旛管内市議会正副議長連絡協議会事務局長会議 社会を明るくする運動講演会 成田国際空港騒音対策委員会富里地区部会総会 PTA連絡協議会ソフトボール大会 総武本線快速電車増発及び複線化促進を図る PTA連絡協議会バレーボール大会 東北の皆さんと交流会 赤十字奉仕団総会 酒々井インターチェンジ設置促進期成同盟総会 消防組合議会臨時会 印旛郡市民体育大会総合開会式 北総中央用水土地改良事業推進協議会通常総会 東日本大震災犠牲者を弔う慰霊祭 橘の会舞踊発表会 隊友会八街支部総会 市民カレッジ開講式 農業研究会総代会 社会を明るくする運動協力団体説明会 市民会議総会 PTA連絡協議会定期総会 後期高齢者医療広域連合議会全員協議会(千葉 印旛沼水質保全協議会通常総会 老人クラブ連合会定期総会 自衛隊協力会総会 廃プラスチック対策協議会総会 酒米生産組合田植え体験会 八街工業会総会 副議長の出席報告★ (印西市 (酒々井 (四街道市 (山武葉 (富里市) (印西市) (佐倉市)

6月定例会議案等処理結果一覧

○賛成 ×反対

		各会派の賛否							
議案番号	件 名	議決年月日	結 果		会派 公明			桜	石
議案第1号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	平成23年5月31日	同意	0	0	0	0	0	
議案第2号	専決処分の承認を求めることについて (平成22年度八街市一般会計補正予算)	平成23年6月9日	承 認	0	0	0	0	0	0
議案第3号	専決処分の承認を求めることについて (平成22年度八街市国民健康保険特別会計補正予算)	平成23年6月9日	承 認	0	0	0	0	0	0
議案第4号	専決処分の承認を求めることについて (八街市税条例の一部改正)	平成23年6月9日	承 認	0	0	0	0	0	0
議案第5号	専決処分の承認を求めることについて (平成23年度八街市一般会計補正予算)	平成23年6月9日	承 認	0	0	0	0	0	0
議案第6号	八街市総合計画審議会条例の一部を改正する条例の制 定について	平成23年6月17日	原案可決	0	0	0	0	0	0
議案第7号	八街市就学区域審議会設置条例の一部を改正する条例 の制定について	平成23年6月17日	原案可決	0	0	0	0	0	0
議案第8号	八街市スポーツ振興審議会条例の一部を改正する条例 の制定について	平成23年6月17日	原案可決	0	0	0	0	0	0
議案第9号	八街市住所の表示方法に関する審議会条例の一部を改 正する条例の制定について	平成23年6月17日	原案可決	0	0	0	0	0	0
議案第10号	八街市環境審議会条例の一部を改正する条例の制定に ついて	平成23年6月17日	原案可決	0	0	0	0	0	0
議案第11号	八街市中小企業資金融資条例の一部を改正する条例の 制定について	平成23年6月17日	原案可決	0	0	0	0	0	0
議案第12号	八街市消防委員会条例の一部を改正する条例の制定に ついて	平成23年6月17日	原案可決	0	0	0	0	0	0
議案第13号	八街市上水道委員会条例の一部を改正する条例の制定 について	平成23年6月17日	原案可決	0	0	0	0	0	0
議案第14号	八街市土地の埋立て等及び土砂等の規制に関する条例 の一部を改正する条例の制定について	平成23年6月17日	原案可決	0	0	0	0	0	0
議案第15号	平成23年度八街市一般会計補正予算について	平成23年6月17日	原案可決	0	0	0	0	0	0
発議案第2号	原発から撤退を求める意見書の提出について	平成23年5月31日	否 決	×	×	×	0	0	X
発議案第3号	東京電力株式会社福島第一原子力発電所において発生した事故に伴う 農産物被害に対する迅速な対応に関する意見書の提出について	平成23年5月31日	原案可決	0	0	0	0	0	0
発議案第4号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の提出 について	平成23年6月3日	原案可決	0	0	0	0	0	0
発議案第5号	国における平成24年度教育予算拡充に関する意見書 の提出について	平成23年6月3日	原案可決	0	0	0	0	0	0
発議案第6号	地方消費者行政に対する国の実効的支援を求める意見 書の提出について	平成23年6月17日	原案可決	0	0	0	0	0	0
請願第23-2号	八街市議会全員協議会会議の公開を求める請願	平成23年6月17日	不採択	×	×	×	×	0	×
請願第23-3号	地方消費者行政充実のための国による支援に関する請 - 願	平成23年6月17日	採択	0	0	0	0	0	0
第 6 号 日 程 第 1	八街市農業委員会委員の推薦	平成23年6月17日	上 砂 3 1 9 石井とよ子	0	0	0	0	0	0

 誠和(誠和会)
 山本
 邦男、古川
 宏史、横田
 義和、中田
 眞司

 湯淺
 祐徳、小高
 良則、山口
 孝弘、林
 修三

 公明(公明党)
 新宅
 雅子、京増
 良男、鯨井眞佐子、川上
 雄次

 21 (やちまた21) ········ 小澤 定明、加藤 弘

 共産(日本共産党) ······· 丸山わき子、右山 正美、京増 藤江

 桜 ······· 桜田 秀雄 石 ······· 石井 孝昭

編集後記 ------

今議会では、3月11日の東日本大震災の影響を受けて、安全安心な八街市をつくるために、各議員より農作物の被害対策、放射能問題、電力不足に対する省エネ問題などの様々な前向きな質問や意見が数多く出されました。この夏、国は昨年対比15%の節電を喚起しております。有限な物質社会の中にあって、私たちは何か大切なものに気付かされたのかもしれません。被災地の方々の中には、未だ避難所生活や仮設住宅での生活を余儀なくされております。1日も早い復興を願い、沢山の方々が被災地支援のためのボランティアにご尽力されております。非常に尊い事であると思います。何かをして欲しいではなく、今私達一人ひとりが、国のため、社会のため、しいては八街市のために何が出来るのかを考えなくてはいけないと思います。

最後に予報では、今年の夏も激暑が続くといわれております。あまり頑張り過ぎず、程よい休養と、適度な水分補給をお願いします。体は大事です。暑い暑い夏を皆さんで元気に乗り越えましょう。暑さ厳しき折健康には十分お気をつけ下さい。 (石井 孝昭)



●議会だより編集委員会● 委員長/加藤 弘 副委員長/川上雄次 委員/京増藤江・横田義和・小髙良則・林 修三・石井孝昭

※本紙にご意見等ございましたら「議会だより編集委員会」までお寄せ下さい。 TEL043(443)1482